

## 道徳科の授業での活用事例

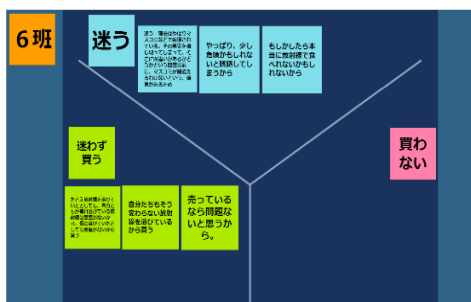
【内容】クラスで全員の考えを共有する時間を確保することができる。

【使用アプリ】Jamboard

【事例紹介】

●書く時間を減らし、考え、議論する時間を確保する。

- ・授業の中でなかなか発表できない生徒の考えもクラス全体で共有できるようにJamboardを活用してクラス全体の考えを共有できるようにしました。
- ・まず、自分の考えを入力して付箋を貼って可視化し、その後、班活動でそれぞれの考えを発表、考えに対する議論という流れで授業を進めました。（図1）
- ・大型提示装置に各班のボードを映し出し、全体で発表を行い、共有する時間も設けました。（図2）



(図1)

7班		東日本大震災によって起こっている問題							
生活に必要なものが不足している	電気が使えない	生活の困窮	断水	食料が足りない	建物崩壊	土砂崩れ	死者数	狭い子供たち(障害)	避難の困難(災害)
環境	国民の不安、心理的ダメージ	河原、海の汚染	避難所の運営や管理	47都道府県の被災状況	大量の瓦礫	大気汚染、放射能汚染	森林の減少	避難先での生活環境	輸送が不安定
精神的	学校に行けない	いつ来るかわからないから精神的に悲しい	行方不明者2527人	帰る家がない不安	情報が足りない	不安、落ち込み(国民)	精神的ダメージを負っている	劣悪な生活環境	通信が途絶える

(図2)

☆Jamboardの活用により、考え、議論する道徳科の実践が充実しました。

☆自分とは異なる他者の考えが分類・整理された状態ですぐに共有できるようになりました。

☆班活動や全体発表を班長に行わせることで、班長のファシリテーション力やリーダー性の育成にも繋がりました。

【終わりに】

学期に一回道徳部会で考え、議論する時間をどう作るかということを話し合ってきた成果が少しずつ表れてきました。道徳的価値を多面的、多角的に考えることができ、意見交換が苦手な生徒も自分の考えを出すことができました。一方で、班員の中にはタイピング力に課題がある生徒もいるため、入力することだけで精一杯であり、自分の考えを十分に表現できない場面も見られました。タイピング力の向上に向けた取組が必要だとも感じました。

☆教育委員会指導主事より☆ ICTは今までの授業を拡張するためのツールです。土居中学校では「考え、議論する」をテーマに道徳の授業について部会を中心に研究を進めていますが、ここが重要なポイントです。個々の情報をどのように整理し、どのように共有することで議論が深まるかを先生方が突き詰めていく中で、自然とICT活用の場面が見出せたのではないのでしょうか。紙のワークシートでは難しいけれど、ICTを活用することによって容易に実現できそうな授業展開があるはず。ねらいや活動の目的に迫るために便利な道具としてのICTの活用を検討してみてください。